

会 議 の 名 称	第32期 第6回社会教育委員会会議
開 催 日 時	平成25年1月18日(金) 10時00分から 11時30分まで
開 催 場 所	枚方市民会館 第4集会室
出 席 者	西邨定実議長、石塚美穂副議長、加堂裕規委員 児島秀治委員、中野小津枝委員、中村奈緒美委員 西田スマコ委員、松浦清委員、矢倉由紀代委員 【事務局】 社会教育部／岸部長、松宮次長、八上次長 中央図書館／園田館長、亀元副館長 社会教育課／米倉課長、黒臺課長代理、椎谷係長 スポーツ振興課／精木課長
欠 席 者	青野明子委員、植松千代美委員、大西宏明委員、志保田務委員
案 件 名	1. 「枚方市立図書館第2次グランドビジョン」平成23年度の進捗状況の検証等について
提出された資料等の 名 称	・資料1. 枚方市立図書館第2次グランドビジョン 平成23年度の進捗状況について（意見）（案） ・資料2. 枚方市立図書館第2次グランドビジョンの進捗状況一覧（平成23年度）（案）
決 定 事 項	枚方市立図書館第2次グランドビジョンの平成23年度の進捗状況については「おおむね順調に進捗している」とする
会議の公開、非公開の別 及 び 非 公 開 の 理 由	公開
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 (事 務 局)	社会教育部社会教育課

審 議 内 容	
西邨議長	改めましておはようございます。 定刻となりましたので、ただいまから第32期第6回枚方市社会教育委員会会議を開催いたします。 委員の皆様方におかれましては、公私ご多忙の折、ご出席をいただきましてありがとうございます。早速ですが、事務局より出席状況報告並びに資料の確認等をお願いします。
〈事務局〉	本日の委員の出席状況は、委員13人中9人が出席されています。 枚方市社会教育委員会会議運営要綱第5条により、過半数の出席がございましたので会議が成立していることをご報告いたします。 なお、枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程第3条に基づき、本会議は公開となっておりますのでご了承ください。 〈事務局より資料の確認を行う〉
西邨議長	それでは、次第に従って進めてまいります。 案件の「枚方市立図書館第2次グランドビジョン 平成23年度の進捗状況について」、事務局から説明をお願いしたいと思います。まず前回の会議で修正することとなりました資料2を説明していただいた上で、資料1の説明をお願いできたらと思います。よろしくお願いします。
〈事務局〉	それでは、まずA3横長の資料2をごらんください。この資料は前回の本会議でいただきましたご意見を踏まえまして、修正を行った資料でございます。修正点等について、まずご説明をさせていただきます。 資料の実績の列でございますが、前回の資料では実績と成果に分けて記述しておりましたが、その切り分けについてご意見をいただいたため、成果部分を実績に一本化し、それに伴う文言の調整等を行うとともに、実績の左側の主要なサービス展開の方向性との関係がわかりやすいよう、各方向性ごとに線で区切らせていただきました。 また、進捗状況の評価を行いやすいよう、自己評価を入れるべきとのご意見を踏まえまして、実績の列の右側に評価の列を加えさせていただきました。その評価の凡例については、資料の上部に書かせていただきましたとおり、平成27年度末を目標達成期限といたしまして、二重丸が目標達成、丸が順調に進捗、三角が進捗がやや遅れている、バツが未着手となっております。 実績等につきましては、前回ご説明いたしましたので、評価の特

徹的な部分に絞ってご説明をさせていただきますが、ナンバー１の１、「図書館利用者層の拡大」につきましては、さまざまな努力はいたしておりますが、元来実利用者率が２０％のところ、平成２３年度も２０％と進捗が見られないことから、三角といたしました。

資料１枚目のその他の項目につきましては、おおむね順調に進捗しているものと評価し、丸にさせていただきました。

それでは、資料の２枚目に移っていただきまして、１番上のナンバー３の１の①、「インターネット予約システムの利便性を高める工夫を行い、利用を促進する」のところでは、システムの改良を行い、システム改良前の１年間のインターネット経由の予約が約４２万件だったものが、改良後１年間で約５５万件に増加いたしましたので、この部分については二重丸とさせていただきました。

資料の２枚目のその他の項目につきましては、おおむね順調に進捗しているものと評価いたしまして、丸にさせていただきました。

続いて、資料の３枚目をごらんください。ナンバー５の１の③、「分室のサービス圏域や利用状況を踏まえた再構築」、④の「図書館全館の要であり、また枚方中部地域の拠点館としても位置づけております中央図書館、中央図書館とともに地域の拠点図書館と位置づけております楠葉、菅原、香里ヶ丘の地域間、その他の各地域にございます津田、牧野、御殿山、さだの４分館、そして地域館や分館が利用しにくい市内１１か所に配置しております分室、各施設それぞれの利用状況に即して開館時間を見直すこと」、以上２点につきましては、実績と呼べるほどの進捗がないことから、評価をバツとさせていただき、今後平成２７年度末に向けて成果を上げられるよう取り組んでまいりたいと考えております。

ナンバー５の３、①の「図書館資料の適正管理のための短期休館による蔵書点検の全館での実施」につきましては、平成２３年度全館で短期休館し、いわゆる棚卸しと魅力の薄れた蔵書の書庫入れ等を実施いたしましたので、二重丸とさせていただきました。

資料３枚目のその他の項目につきましては、おおむね順調に進捗しているものと評価し、丸にさせていただきました。

この結果、表の下にございますように、評価の集計といたしまして、進捗管理全項目数３７に対しまして、目標達成が２、順調に進捗が３２、進捗がややおけているが１、未着手が２という結果になりました。その内訳のパーセンテージはごらんのとおりでございます。

以上が、前回の会議以降、事務局が修正を行った点でございますが、ここでご注意いただきたいのが、この評価の考え方でございます。前回の会議でもご意見をいただきましたとおり、第２次ビジョンは年次計画を持っておりませんので、どうしても計画期間の周期

である平成27年度末を基準として進捗を考えざるを得ないため、たとえ平成23年度末段階で目標達成間近まで進捗していたとしても、目標達成ではない限り、丸の順調に進捗と評価せざるを得ません。

したがって、前回の会議でも申し上げましたように、年次計画を立てることにより、ビジョンで描いた方向性がより進捗する分については、平成27年度末までの年次計画を立て、評価も当該年度分の計画に対して進捗がどうであったかの評価を行うことで、現在よりも、メリハリの聞いた評価を実施してまいりたいと考えております。

一方、数値化が難しく、事業の終期のない、ずっと努力していくような項目などは、今後に向けた方向性は書けたとしても、平成27年度までの年度ごとの明確な達成目標などを無理に書いてしまいますと、それに縛られてしまって、フレキシブルな図書館運営が難しくなりますので、年度ごとの実績を見ながら、次年度の目標を立てる方式でサービス向上を目指し、進捗管理も行っていきたいと考えております。

なお、年次計画につきましては、平成25年度の早い次期に策定いたしまして、平成24年度分の進捗管理から年次計画に基づく評価を行う予定でございます。

資料2のご説明は以上でございますが、引き続き、資料1の説明をさせていただきます。

第2次ビジョンにつきましては、この社会教育委員会において、経年的にその進捗状況についてご意見を伺い、それを図書館運営の改善に生かすことを明らかにしておきまして、事務局といたしましては、社会教育委員会としてご意見をいただきたいと考えております。

資料1は、前回の会議でいただいたご意見を踏まえまして、平成23年度の第2次ビジョンの進捗状況に対する社会教育委員会の意見書案として事務局が作成したものでございます。

本日の会議において、委員から新たにご意見をいただきました場合は、意見書にどのように反映させるかも含めまして、ご検討いただきたく存じます。

それでは、資料のご説明をいたします。記書き上部につきましては、平成23年度の進捗状況全体としておおむねどうであったのかを書き、記書き以下につきましては、前回の会議で委員からいただきましたご意見を今後の図書館サービス向上に生かす観点から、提案の形で文章化したものでございます。

なお、記書き上部の括弧内には、進捗状況全体を評価する言葉を入れていただきたくと存じます。

記書き以下の提案につきましては、前回の会議でいただいたご意見を4点にまとめて書いてございます。

ご意見の1点目は、子ども読書活動の推進についてでございます。子ども読書活動の推進における学校図書館との連携の重要性を指摘するとともに、物流面におけるサービスの向上についてご意見をいただきましたので、利便性向上の文言を入れ、また学校図書館充実のために司書教諭の相談に乗るなどの市立図書館と司書教諭等との継続的な協議の場を設けて、認識を共有しながら連携を進めるための連携システムの構築の文言を入れさせていただきました。

2点目は、資料の充実についてでございますが、委員からもっとオーディオ・ビジュアル資料の充実をとのご意見をいただきましたので、その内容を書かせていただきました。

3点目は、図書館サービスのあり方でございますが、実利用者率の向上などについては、IT技術等を用いたサービスの推進が有効であることは否定しないが、IT技術に長けた人ばかりではないので、並行して窓口サービス等における利用者と職員がコミュニケーションを行いながら、課題解決をしていく人と人とのサービスも充実するようにとのご意見をいただきましたので、その旨を書かせていただきました。

最後の4点目は、年次計画の立案による計画期間全体にわたる進捗状況の管理についてでございますが、年次計画を通覧できる総合的観点による工程表の作成と、それに基づく実績評価並びに目標達成度に基づく計画の修正等について書かせていただくとともに、進捗管理を行う項目の中には、平成27年度までの複数年にわたる目標設定の難しい項目もあることから、工程表作成に当たっては、留意するよう補足をさせていただきました。

以上が、社会教育委員会としての意見書案の中身でございますが、先日、資料案を送付させていただきました際、本日ご欠席されている志保田委員より、学校図書館との連携につきまして、前回の会議において、公共図書館が学校図書館に対して援助できる項目としては、学校図書館蔵書の総合目録を構築するような場合は、図書館がその作成にあたり研究を行い、援助を行うことができる旨の発言をしたはずだがとのご連絡をいただいております。このご意見は、意見書案には記載しておりませんが、その取り扱いにつきまして、ご検討いただきたいと考えております。

ご説明は以上でございます。中身をご検討いただき、また進捗状況全体の評価につきましても、お考えいただきますようお願いいたします。

したご意見に基づきまして、事務局で年末年始の休暇、あるいは14日の成人祭と大変忙しい中、資料をこのように作成していただきました。今、ご報告いただきました中で、各委員からご意見等ございましたら、よろしくお願いいたします。

前回の進捗状況一覧では、今私が手元に広げていますが、実績と成果と別の項目で分けて記載をしていただきましたが、それを実績として見にくいのでということで、重複しているということで実績欄にまとめていただき、おのこの自己評価については4段階の方法でやり直しをしていただきました。

何か、各委員でご意見はございますでしょうか。

どうぞ。

松浦委員

自己評価に関してですけれども、ただいま事務局から説明のありましたとおり、この一覧に関しましては、平成27年度最終段階にわたるまでの全体の中での達成度についての評価だということで、それは前回のこの委員会の中でも年度ごとにという、もう少し丁寧な評価ができるようなシステムをとという話をして、それでもやはり、今年度に関しましては全体の流れを確認するしかないの、一応この形にしてほしい。来年度以降はもう少し年度ごとのものということでお話があったわけですが、評価の最終的な仕方、三角とか丸とかのやり方について、もう少し内容について、数値化した上でわかりやすい形で提示していただきたいというのが希望なんです。と申しますのは、目標達成の割合が二重丸と丸ではどう違うのか、三角ではどう違うのか、どの程度の意味があるのかははっきりしたいわけですね。何%達成されているのかが、例えば順調に進捗というのは70%いっているのか、80%いっているのか、あるいは進捗がおくっているというのは20%に過ぎないのか、あるいは50%まで進んでいるのか。その辺を一定数値化した上で、その数値目標に向かって、あくまでも年度ごとに100%の目標に向かいつつ、その年度の中で80%しか達成できないのであればどう評価するとか、50%であった場合はどう評価するのかという評価基準をあらかじめ設けた上で、その基準に照らし合わせて100%の中で何%達成していると、うまく達成できなかったら翌年度のこの点は修正するなり、あるいは重点目標として特に大きく掲げていくとか、そういう数値目標に基づいた形で評価していただきたいというのが希望です。

西邨議長

わかりました。

今、松浦委員からこういうご意見が出ました。事務局としてはいかがでしょう。

〈事務局〉 今、委員がおっしゃいましたように、年次計画ができればより正確な評価もできるようになるかと存じますので、次年度以降、委員がおっしゃいました数値化の件、それから評価基準を設ける点も含めまして、前向きに検討させていただいて、次年度またご報告させていただきたいと考えております。

西邨議長 こういう事務局の説明ですが、松浦委員、いかがでしょうか。

松浦委員 結構です。

西邨議長 大丈夫ですか。ほかに委員から何かございますでしょうか。特に今のご説明の中でご意見はございませんでしょうか。

もしないようでしたら、まず事務局から求められています枚方市立図書館第2次グランドビジョン 平成23年度進捗状況について（意見）という資料1、平成23年度の進捗状況は括弧書きと考える云々、なお今後さらに云々とありますが、ここの文章の中で、ここに語句を入れたいと思うのですが、何かご意見等ございますでしょうか。

先ほど松浦委員から、具体的な目標に対する達成度というのは、この評価ではわかりづらいというご意見がありました。それについては、事務局から、先ほどありましたように年次計画を立てただいて、その年次ごとにと100%の達成率ということで、次年度からは変更すると。ただし、今回については年次計画がないので具体的に書けないということで、自己評価として4段階で評価をしていただいています。この4段階の中でバツ、要はまだ手をつけていない項目というのが2つ、達成していないのか思ったとおり進んでいないというのが三角、残りにつきましては二重丸もしくは丸ということで、自己評価としてはほぼ順調に進んでいるのではないかと、この評価からは受け取れますが、各委員さんからはどういうご意見がありますでしょうか。

どうぞ。

中野委員 前回の会議で、年次計画の話が出たときに、志保田先生がビジョンを変えるかというようなご発言があったかと思うんですが、年次計画というのはつくれるわけですね。ビジョンを変えるのではなくて、年次計画として新たに組みかえるというのは可能なわけですね。

〈事務局〉 ビジョンを中期計画という形で考えていただきましたら、その

実行計画といいますか、それを実現していくための工程表みたいなものが年次計画に当たるものだと思いますので、別物ですので、ビジョンというものをより実効性のあるものにするための計画と考えていただければよろしいかと思います。

西邨議長

ほかに何かご意見ございませんでしょうか。

ただいまの報告から、この括弧書きにつきましては、「順調に進捗している」か、あるいは若干言葉はファジーになるんですが、「おおむね順調に進捗している」と、こういった言葉を入れたらいかがかなと思うのですが、各委員からご意見をいただきたいです。

加堂委員

二重丸と丸の数から考えるとそうしかないと思いますね。

数値でいくと確かにこういうことになるのですが、全体として枚方市の図書館がどんなふうにイメージとして、全体として市民に理解されて、かかわっているかというようなイメージがわく表現も欲しいと思うんですね。例えば、最初の1の1の項目は三角ですけれども、3の1のインターネットの予約、これは二重丸、考えたら非常に関係あることで、インターネットのシステムによってどれだけ利用者が増えたか、利用の仕方がどのように変わったかというところから、さらにすそ野を広げていく方向性が出てきますので、その辺を細かく検討してもらったらいいいと思うんです。

それともう1点、質問があるんですけれども、1の2のところの学校図書館との連携ということですが、具体的に子どもがどういうふうに学校図書館で動き、市立図書館で動いているというのがイメージがもうひとつわからなかったんですけれども。

〈事務局〉

子どもが具体的にどういうサービスを受けたかという、そういう話ですか。

加堂委員

学校で図書館のことを学び、図書館を利用し、それがさらに市立図書館のほうにどういうふうに影響しているかということとか。

〈事務局〉

図書館に対する子どもの学びみたいなお話ですかね。

西邨議長

ほかに何かご意見ございませんでしょうか。

では、記書きより上、括弧書きにつきましては、「おおむね順調に進捗している」という言葉を入れさせてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

西邨議長	では、上の括弧書きにつきましては、「おおむね順調に進捗している」という言葉を入れたいと思います。 それから、記書きの下につきましては、先ほど事務局のほうから説明がありました。もう一度、本日ご欠席の志保田委員から、前回の会議にこういうことを言ったと、それが抜けているのと違うかという話がありまして、その項目について、もう一度説明をしていただけますか。
〈事務局〉	志保田先生がおっしゃっているのは、図書館と学校図書館との連携の中で、公共図書館が学校図書館側に提供できるサービス、支援の1つとして、総合目録システム——図書館と図書館をコンピュータのオンラインで結んでデータの共有とか、どこの図書館に何が入っているかということのをどの図書館でもわかるというシステムをもし学校が構築するようなことがあるんだったら、その際には図書館はノウハウを持っているので、そのノウハウを提供できるんじゃないですかということをおっしゃったとおっしゃっていますので、もしそういうことがあれば、そういうことを図書館側が研究いたしまして、援助する用意があるということを書いてはどうかということだと思います。
西邨議長	そういうようなことで、本日お休みですが、志保田委員からその旨事務局にご連絡があったということですが、中学校あるいは小学校の先生、今の件について何か具体的に、一体どういうことなのかとか何かありましたらお願いします。
中村委員	小学校同士とかどこの小学校にどういう本があるかというのは、今はライン方式になっていますので、学校間は、例えばこういう本を借りたいけれども、ここの学校にあるよみたいなのがわかるシステムにはなったんですね。確かに、ここの学校にしかないという本に関しては、それを利用したら、そこの学校に行けばそこで借りられるので、その辺はいいなと思います。学校間ではできています。 ただ、学校図書館と中央図書館を含めた市の図書館との連携ということでは、そこからはちょっとずれるかもしれませんが、1の2の部分に関しては、小学校、中学校でこういう意見を持っていますよということを話し合う必要があると考えていることと、市の図書館との交流、意見交換の場を持たないと、今図書館でいただいているサービスが、たくさんの学校にすそ野が広がるベストな方法だと思ってしてくださっているとは思いますが、いろいろな学校がありますので、それがすべての学校にとってベストではないと、学校の中では考えていることもあります。子どもは

これからの図書館で本を借りる人につながっていきますし、読んで、もっとこのシリーズ読みたいとか、学校では予算が限られているので、このシリーズはあるけれどもこれはないというのもありますので、じゃあ図書館へ行って本を借りてみようとか、そうしたら大人も一緒に行つてというようになっていくと思うので、その辺の連携はこれからも深めていったほうがいいと考えています。

西邨議長 ほかに。志保田委員からのご意見に対して何かございますでしょうか。志保田委員からの分に、先ほどの話からいきますと、学校図書館との連携で、総合目録システムというのを図書館から支援してはというようなことで、要は図書館の持っている蔵書を学校に公開しなさいというようなことなんですか。

〈事務局〉 いろんな形があるかと思うんです。学校間のつながりとか、図書館と学校のつながり、いろいろやり方はあると思います。今、何の検討の土台もありませんので、まだ何とも言えないんですけども、そういうことをやっていくに際しては、図書館はノウハウを持っていますので、そのノウハウについて援助しなさいというお話だと思います。

西邨議長 なるほどね。まだ、具体的にこういうのがあるからこうするというわけではないと。

〈事務局〉 わけではなくて、もしそうするならばと。

西邨議長 わかりました。そうしますと、志保田委員からのご意見は、記から下の1番目の項目に、子ども読書活動云々というのがあると思います。その中で、学校の先生と図書館とを連携するシステムをつくる、あるいは総合目録システムについて、決まっていないものですから、いろいろこれから研究をして、各学校なり図書館の要望に応じて作業を進めていくというような項目をここに1項入れることによって、志保田委員からのご意見は網羅するかと思いますが、そういう面で、文言は別にしてもう少し検討はしたいと思いますが、具体的に記1の項目、末尾に今のような項目を記入してはいかがかなと思います。

それから、先ほど松浦委員からも言われましたように、評価については4段階でものすごくファジーというか、わかりづらいということもあります。今後は、年次計画に基づいて、ご意見が出ていたように、達成度に応じて個別に評価を数値化していただくということがいいのではないかと思いますので、項目4番の中に評価に

については実績達成度に応じて数値で評価を行うのが望ましいというような文言を入れたらと思いますが、この辺についても委員さんからご意見をお伺いしたいんですが、いかがでしょうか。

中野委員 数値化というか、評価の基準とか特記したものを含めて年次計画を作成するということですよ。

西邨議長 今は、あくまで第2次グランドビジョンというのは5年間を想定してつくられていますので、今回のように平成23年度分だけの評価をせよと言われても、5年間に一体どれだけするんだというのがわからないのにここだけ評価をどうするのというのがあるので、それについては、前回も会議のときに私のほうから言っていましたように、年次的に目標を決めて、本年度はここまで、次年度はここまでというような、ある程度の年次計画を決めていただくことによって、その年度がその目標に達したかどうかという評価はすごくしやすいと思うんです。それが、今回のように5年間のスパンのところを平成23年度だけやって、さあ評価しなさいと言われても評価しにくいということで、今回についてはなかなか数値評価は難しいので、ここの一番最後にもありますように、年次計画をやってくださいと。それから、年次計画とともに、松浦委員からも出ましたように、今度はその年次に対して達成率を数値化しましょうと。達成したものには100あるいは120という数字が出ているかもわかりませんが、逆にそこで積み残した分については、次年度年次計画を部分修正するなり何なりしていただければ、評価するほうもしやすいし、見た目もすごく見やすいかと思います。

松浦委員 数値化することにこだわる理由を補足的にご説明したいと思うんですけれども、評価凡例の中に二重丸、丸、三角、バツという形で達成されているか、順調に進捗しているか、遅れているかということが書いてあるわけですが、これだけでなかなか判断しにくいというのは、試算的にやってみたのですが、例えば二重丸を3点とつけまして、丸を2点、三角を1点、バツを0点という形で、全項目にわたってそれらが達成されているかどうかを計算してみると、私の計算では1.92という点数になるんですが、全項目が3点であった場合、100点満点に換算した上での評価をしますと、大体64点という数字になるんです。ところが、別の観点から、例えば二重丸を100%と考えて、丸を60%の達成であると、三角を30%の達成であって、バツは0%の達成だという形に置きかえて計算し直すと、すべての項目が100%であったことと比較すると、58.1点という数字が得られるわけですね。仮に全体に1

00点から80点が優という成績を与えたとして、これも考え方によるんですけれども、70点台を良として、60点台を可として、60に満たなかった場合が不可だという評価基準を設けるとすれば、前者による成績は64点ですから一応可になるんですが、後者の計算になる58.1にしかないなので不可になるんですね。

つまり、どういう数値目標を掲げて、どういう判断基準を設けるかによって、全体がどの程度達成されているかの考え方が異なってしまう。ですから、わかりやすくするために、最終的な平成27年度までの計画というのが全体としてあった上でですけれども、各年度ごとにどのような工程に基づいてどれだけの達成をするか。各年度ごとに目標を定めた限りは、その年度ですべてが100%達成できる形をつくっておかないと、次年度に影響を与えてしまうので、各年度ごとに100%達成できたかどうかを数値目標で判断して、もし80点であればどういうふうに考えるか、60点であればどう考えるのかという、最終的な判断基準をちゃんと合わせた上で評価し、もし問題があれば翌年度に全体の工程の見直しを行って、それが順調に最終年度までに完璧に達成できるような形をつくっておかないとコントロールできないと。そういう観点で数値目標にこだわるわけです。だから、数値目標が完璧だとは思っていませんが、そういう判断基準がないと判断できないと、私はそこにこだわっているわけです。

西邨議長 こういうご意見です。事務局は今のご意見に対して何かありますでしょうか。

〈事務局〉 そのご趣旨を踏まえまして、数値化と評価基準の作成を行ってまいりたいと思っております。

西邨議長 こういう事務局からの返事でございますので、よろしくお願いいたします。

ほかに、前回の会議から今回資料を訂正いただきました。何かございますでしょうか。特にご意見ないでしょうか。

もしないようでしたら、先ほど私が申し上げました括弧書きにつきましては、「おおむね順調に進捗している」という言葉を入れさせていただきます、なお記から以降につきましては、本日お休みでした、先ほど私が申しました志保田委員からの図書館と学校の連携システム云々ということ、それから本日松浦委員からご意見をいただきました、もう少し評価しやすいように数値化をして、わかりやすく評価できるようなものにするという2項目を記の中につけ加えさせていただきますということでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

西邨議長

それでは、今、私から申し上げました1項目につきましては決まったとおり、あるいは2項目につきましては、文言を考えて意見書の中に意見としてつけ加えたいと思います。その項目につきましては、まことに申しわけないですが、今後の日程の都合上、私と副議長と事務局で再度調整させていただいて、皆さん方にはこのようになりましたということで郵送させていただくことになると思うんですが、残りの分については、語句等、議長、副議長に一任していただきたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

西邨議長

それでは、記以下につきましては、志保田委員あるいは松浦委員から本日いただきましたご意見を意見書の中につけ加えさせていただいて、平成23年度進捗状況についてという報告書を作成したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

その他何か、もうちょっとこの場でこういうことは言っておかないといけないということがありましたら、しっかりと伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。特によろしいですか。

それでは、ないようですので、事務局は何か連絡事項等ございますでしょうか。

〈事務局〉

長い間ご議論をありがとうございました。いただきましたご意見につきましては、事務局が作成いたしました進捗状況の一覧とともに、1月25日に教育委員会協議会でご報告させていただき、また2月13日には市議会の文教委員協議会にてご報告させていただく予定でございます。このたびいただきましたご意見につきましては、今後の図書館サービスに生かしてまいりたいと考えております。また、平成24年度もあとしばらくで終わろうとしております。平成24年度分の進捗状況の評価につきましても実施する必要がありますので、早急に年次計画を策定いたしまして、年度が変わりましたらできるだけ早く委員の皆様に進捗状況をご報告したいと考えておりますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

西邨議長

ありがとうございました。

今回は機構改革などで所管の部署等が変わりまして、今年度、平成24年になってから新たな体制で進みましたもので、多分この評価についても遅れたものだと思います。先ほど事務局のほうから言われましたように、もう既に平成24年度も終わりに近づいております。これにつきましては、私、議長からの意見として、できるだけ早く体制をとっていただいて、もう少しゆとりのある議論をしていただけるような会議を進めていただきたいと切にお願いいたします。

それでは、閉会に当たりまして、本日お見えいただいております社会教育部、岸部長よりごあいさついただきたいと思います。部長、よろしくお願いします。

〈事務局〉 どうもありがとうございました。

本日はこういう格好をしておりますが、この後、枚方市の防災訓練がございまして、11時半から本会議が始まるということで、着がえる暇もないということで失礼いたします。今回、前回、前々回含めまして、中央図書館のグランドビジョンにつきましてご議論いただきまして、まことにありがとうございました。その中でも、今後の方向性を含めまして、より市民の方々にわかっていただけるような形で、次年度以降についてはよりそのような報告もできるのではないかなと考えております。今いただきました意見につきましては、今後の図書館、あるいは市民の方に使っていただくという前提の中で、利用の向上性を図ってまいりするための貴重なご意見として生かしていきたいと考えています。最後に、議長からもお話がございましたけれども、今年度につきましては、私どもの不手際で会議自体の開催が遅れておりました。来年度につきましてはそういうことがないように努めてまいりますので、今後とも社会教育行政の推進のために、引き続きご尽力を賜りますようお願いいたしまして、閉会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

西邨議長 ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして本日の社会教育委員会議を終了いたします。